

活動名：田村市かぶと虫杯第 22 回常葉カップ少年サッカー大会

日 程：令和 5 年 5 月 20 日（土）～ 21 日（日）

会 場：田村市陸上競技場

結 果：予選 L 柴宮 SSS ● 富田東 SSS ●
7 位 L 船引 SSSO 芳賀 SSSO

帯 同：大森、渡邊、渡邊真

報 告：20 日大森コーチ、21 日渡邊コーチ
（20 日大森コーチ報告）

テーマ

- ・大会(試合)のルールを覚える
- ・シュートを打つこと

良かったところ

ドリブルで抜けられる場面もあり、ゴールへの意識が強く感じられたこと。
たくさんシュートを打ったこと。
団体行動がきちんとできていました。

課題

失点するまでは互角の戦いの試合をしていましたが、失点すると元気がなくなり選手達全員がディフェンスの意識が強くなり相手の攻撃に対して受け身になり相手ゴールへ向かう選手が少なくなっていました。
相手に対して一発でボール(飛び込み)をして交わされたり、身体をぶつけて(身体を入れる)ボールを奪うことができていなかったこと。
キーパーポジションのポジションを経験していないのでキーパーからの配球などで失点を多くしてしまったことがあり、全ての課題は今後の練習で取り組んで行きましょう。

出来事

初日は 20 分一本で 2 試合でした。
交代する選手がいなく試合が終わる頃にはみんなハトハトになっていましたが、選手達はサッカー(大会)を楽しくプレーしていました。

（21 日渡邊コーチ報告）

20 日の予選 L 終了後、大森コーチから試合内容などについて報告を受けていたので、どのように戦うか対策を練ることができました。特に次の 3 つを意識しました。

ポイント1 シュートを打つ

ポイント2 ポジション

ポイント3 ルールを覚える

サッカーの大きな目的は何でしょうか？それは“勝つ”こと。

そのためには、相手チームより多く得点することが必要です。

サッカーの攻撃の原則は「得点をうばう（相手ゴールにシュートを決める）」「相手ゴールへ向かう」。

守備の原則は「相手からボールを奪う」「自分たちのゴールを守る」。

選手たちには、試合にでたら最低1人1本はシュートを打つよう伝えました。

大概、このような約束事をすると、自分のキック力を無視してしまい、どんな場所からでも強引にシュートを打ってしまうなんてことがあるのですが、今大会では、そのようなシーンは無く、しっかり自分のキック力と状況を判断して、シュートが打てないときは、ドリブルやフリーな選手へパスするといった柔軟に対応していました。また、2試合とも前線からボールを奪いに行けていたのも良かったです。ときどき、FW6人・DF1人になっていたのは改善の余地ありでした。そして、サッカーのルールを覚えることですが、こちらについても、ちょこちょこ反則があったのでルールを覚えていきましょう。

2日目は、15分1本という変則的なレギュレーションだったため、1人あたりの試合出場時間が短くなりましたが、選手一人ひとりが、しっかり戦っていたので良かったです。

選手一人ひとりが、やるべきことをやっていたので、無失点で全勝することができました。次の大会に向けて、また練習頑張りましょう。

最後に、父兄の皆様、二日間、朝から応援していただき、本当にありがとうございました。また、常葉SSS様、大会に参加していただき、ありがとうございました。





